

地域におけるがん対策の目指すこと

奈良県がん対策推進協議会
2012年11月21日
がん政策情報センター
埴岡 健一

世界保健機関(WHO)による 計画策定の「3ステップ」

前回使用
スライド

【ステップ1】現状を把握する

がんの現状、がん対策の現状を調べる

【ステップ2】到達点を設定する

政策を策定採用する。対象、ゴール、目標も設定する。優先的対策を決める

【ステップ3】達成方法を考える

政策実施のステップを明確にする

ステップ1 現状把握(例)

- 声を集める(患者、現場、地域の声)
 - 意見集約型対話集会(タウンミーティング)を開く
 - 患者アンケートを実施する、など
- がんの現況を可視化する(データ分析)
 - がん種別死亡率、死亡率改善率、がんの治療の実態、医療資源の現況など・・・
- がん対策の現況を可視化する(情報分析)
 - 国の計画、県の前計画、県のアクションプラン、県の予算、協議会の活動、連携協議会の活動、関係者の活動など・・・

ステップ2 到達点を設定する(例)

- 課題を抽出する、論点整理をする
 - 現況の問題点は？
 - ゴールを設定する
 - 問題点が解決されている理想の姿とは？
 - 最終成果(アウトカム)、中間成果を設定する
 - 問題が解決している姿を示すかたちは？
 - 施策(活動)の柱と結果(アウトプット)を設定する
 - 成果につながる施策(活動)とは？
 - (* 本当に成果をもたらす有効性が高い施策は何か？)

ステップ3 達成方法を考える(例)

前回使用
スライド

- 関係者の連携調整の場の設定
- 実施者・協力者のモチベーション、当事者意識醸成
- 普及啓発・広報の実施
- PDCA(計画、実施、評価、改善)サイクルの好循環
- 評価体制の確立(締め付ける評価でなく、六位一体の取り組みを盛り上げる評価)

2012/11/21

5

計画セルフチェックシート(例)

連番	分類	視点	視点の定義
1	A.プロセス	データの抽出	現況把握データを収集活用している
2		独自データの計測	独自データを計測している
3		前計画のアウトカム評価	前計画をアウトカム評価している
4		関係者の意見の把握	関係者意見把握行動を行っている
5		タウンミーティングなど	TMやヒアリングを行っている
6		地域特性への適合	地域の特性に合った施策を抽出している
7	B.目標と評価	アウトカムベースの政策循環	政策循環の考えになっている
8		計画体系の可塑性	成長可能な計画となっている
9		アウトカム評価	アウトカム評価の考えになっている
10		アウトカム目標	中間アウトカム目標を設定している
11		アウトカム指標	アウトカム指標を設定している
12		SPO指標セット	SPO指標セットを設定している
13	C.実効性の担保	評価のための情報源	指標のデータソースを想定している
14		役割分担の設定	施策実行の主体を決めている
15		関係者の主体性	各関係者が実行計画を作っている
16		評価の組織	評価のための組織を決めている
17		中間評価	第2期の中間評価を実施予定
18		アクションプラン	第2期のアクションプランを作成予定
19		医療の質の計測事業	医療の質の計測実施を計画に入れている
20		患者満足度調査事業	満足度調査実施を計画に入れている

2012/11/21

6

説明、注釈、留保

- ☆限られた情報からの、試行的にイメージを示すための記載例です。人によって評価が異なります。複数のメンバーで対話しながら評価を形成していくことが重要です
- 分野横断的で包括的な視点からの項目例をあげています
- 第2期がん対策推進基本計画、都道府県がん対策推進基本計画課長通知、医療計画局長通知、医療計画課長通知、同・別紙指標例集、世界保健機関(WHO)がん計画ガイドライン等を参考にしました
- セルフチェックシートの一例です。チェック項目自体も検討し作成することが大切と考えられます
- こうした項目に基づいて対話することが、焦点を明確にしたり、議論を深める効果があると考えられます
- *SPO=ストラクチャー(外形)、プロセス(過程)、アウトカム(成果)

2012/11/21

7

セルフチェックイメージ①

C.実効性の担保	役割分担の設定	施策実行の主体を決めている	2?	施策別役割分担表の作成、合意形成と推進の場の設置などが考えられる
	関係者の主体性	各関係者が実行計画を作っている	1?	主要な各主体が県5カ年計画に対応する計画を策定するなどが考えられる
	評価の組織	評価のための組織を決めている	1?	協議会(その他の組織)が評価する立場となることを明記するなどが考えられる
	中間評価	第2期の中間評価を実施予定	3?	別途、中間評価までの工程表を作成するなどが考えられる
	アクションプラン	第2期のアクションプランを作成予定	1?	毎年改善せずに現状で5年が見渡せるかを検討するなどが考えられる
	医療の質の計測事業	医療の質の計測実施を計画に入れている	1?	標準治療順守率など医療の質を計測することの検討などが考えられる
	患者満足度調査事業	満足度調査実施を計画に入れている	4?	中間評価のベースライン設定に間に合うように工程管理するなどが考えられる

2012/11/21

4段階評価:4=できている、1=できていない 8

ステップ3 達成方法を考える(例)

□関係者の連携調整の場の設定

⇒実施・推進面での連携協議会や部会の役割の拡大、資源の手当て

□実施者・協力者のモチベーション、当事者意識醸成

⇒各当事者の5カ年計画

- ・連携協議会の5カ年計画
- ・議連の5カ年計画
- ・患者会連合の5カ年計画

それを横につなぐ仕組み

2012/11/21

9

セルフチェックイメージ②

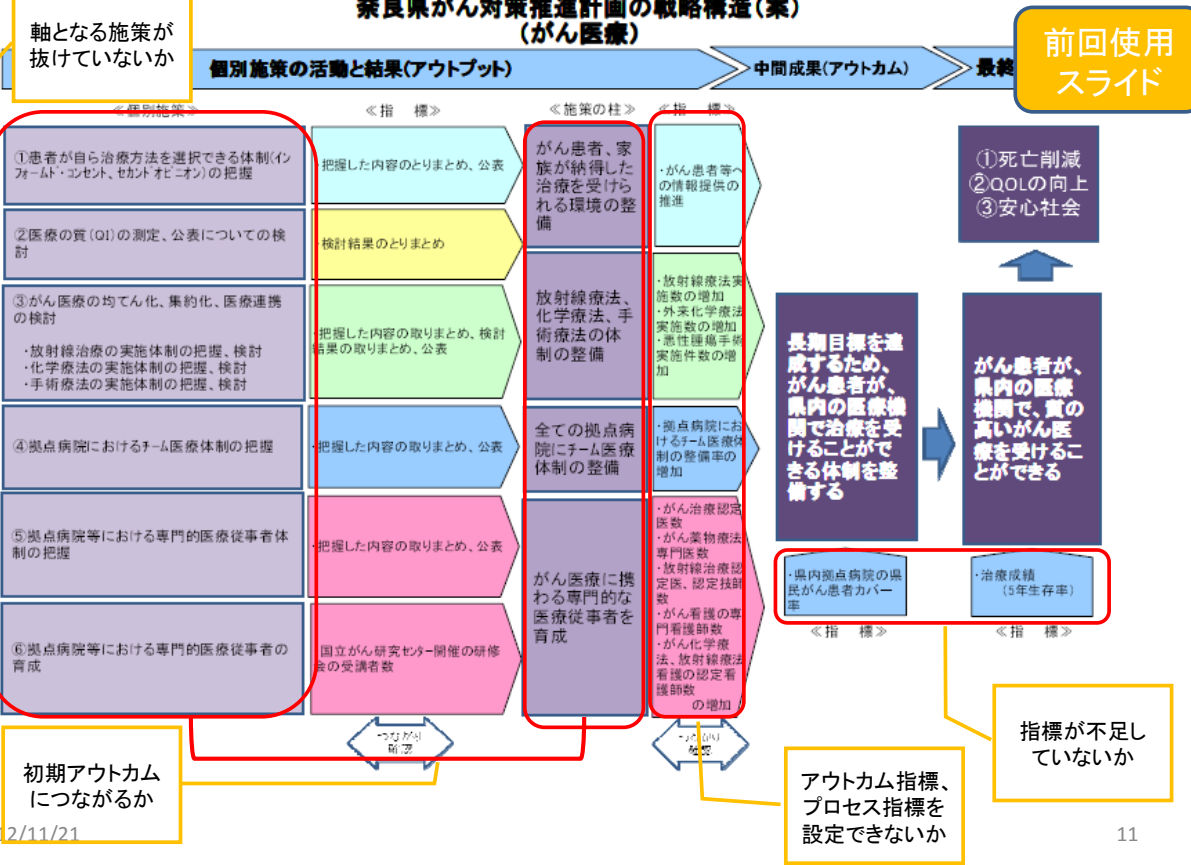
B.目標と評価	アウトカムベースの政策循環	政策循環の考えになっている	2?	評価と施策の改善の関係をより明確に記載するなどが考えられる
	計画体系の可塑性	成長可能な計画となっている	1?	(毎年、)順次、計画を肉付け発展させていく考えを入れるなどが考えられる
	アウトカム評価	アウトカム評価の考えになっている	4?	中間アウトカムの柱を強化するなどが考えられる
	アウトカム目標	中間アウトカム目標を設定している	3?	中間アウトカム目標が欠けているところを補充するなどが考えられる
	アウトカム指標	アウトカム指標を設定している	3?	アウトカム指標を追加設定する(予定や検討を含む)などが考えられる
	SPO指標セット	SPO指標セットを設定している	2?	SPO指標セットのまとめ表を策定し漏れをチェックするなどが考えられる
	評価のための情報源	指標のデータソースを想定している	3?	想定情報源(既存、開発、検討、未定含む)をより明確にするなどが考えられる

2012/11/21

4段階評価:4=できている、1=できていない 10

奈良県新計画構造案のチェックポイント例

奈良県がん対策推進計画の戦略構造(案) (がん医療)



まとめ

- 継続性をもって、施策を実施し改善していくための、循環づくり
- 施策別の当事者(主体、協働者、支援者)の役割分担と資源確保
- 実施推進のけん引役となる仕組みの確認
- 協働で成果をあげていくイメージの共有

みんなで考えよう

遂行される計画とは？

目指せ「日本1の自分たちの計画」！

ありがとうございました

* がん政策情報センターのウェブサイトにも、
がん計画策定の資料があります

** 10月6日、7日、8日
「がん政策サミット2012秋 in Nara」
ご協力・ご参加、ありがとうございました。